

# 令和4年度 第8回

## 病院経営戦略会議報告

**日時** 令和4年7月19日（火） 13時00分～13時45分  
**場所** 3階講堂会議室1・2  
**出席者** 堀之内院長 小山副院長 増田副院長 安西看護部長  
堀越病院経営部長 高橋病院総務課長 三上病院施設管理課長  
富田病院財務課長 増田医事課長 鈴木情報管理室長  
日向患者支援センター副所長  
**事務局** 坂口病院総務課課長補佐

### 内 容

#### ◎高橋病院総務課長

##### 【報告事項】

(時間外勤務の状況 (R4.6月実績) について)

- ・医師の平均は50時間で、前月から5時間の減、80時間超えは13名で前月から3名減。例年5月がゴールデンウィークで休日が多くあったことから時間外が増え、6月は減る傾向にある。
- ・専攻医の平均は71時間で、前月から1時間の減、80時間超えは17名で前月から2名減。専攻医の時間外減も常勤医と同じ要因。
- ・コメディカルの平均は27時間で、前月から2時間の減。
- ・看護部の平均は前月同様8時間。
- ・事務の平均は41時間で前月から2時間の増。

#### ◎三上病院施設管理課長

##### 【報告事項】

(院内の節電対応について)

- ・国及び東京電力が電力供給は極めて厳しい状況にあるとの見通しを示したことを受け、当院としても病院としての診療を優先しつつ、使用していない会議室等でこまめに消灯を行う、使用していない電化製品のコンセントを抜くなど、節電に取り組むこととし、院内にポスターを掲示するなどして節電への啓発について周知を行う。

(たばこの吸い殻について)

- ・ 2階のトイレで電子タバコの吸い殻が見つかった。病院敷地内での喫煙は禁止されているものであり、院内に改めて周知していきたい。

## ◎鈴木情報管理室長

### 【報告事項】

(電子案内システム (デジタルサイネージ) の設置テストについて)

- ・ システム管理委員会において令和5年度のシステム導入等について院内に照会したところ、外来から院内のトイレの位置等が案内板だけでは患者からわかりにくいこと、掲示板への掲示以外に院内の情報提供手段がないこと等の課題を解決するため電子案内システムについての要望があったことから電子案内システムの導入を検討している。
- ・ 今回、導入することにより現状の問題解消につながるか効果を確認する目的で、令和4年7月20日(水)から8月5日(金)の期間で設置テストを行う。
- ・ 掲載内容は、院内配置図・時事ニュース・天気予報等となる。
  - 今回は実証実験中といった表示等を行うのか。(病院総務課長)
  - モニターの上に実証実験中と表示するとともに、簡単なアンケートを行う予定。(情報管理室長)

## ◎堀之内院長

- ・ 現在、就業制限となっている医療職が約30名以上おり、かなり厳しい状況となってきた。医療職の人員確保のため、就業制限のあり方について感染管理室に検討を行ってもらっている。
- ・ 新型コロナの新規感染者数の増加スピードが非常に早い状況であり、県調整本部からは、7月25日にフェーズⅣの体制に移行し49床確保してほしいと依頼が来ている。
- ・ 今後の新型コロナ患者増に対応していくため、8月1日から8A病棟を新型コロナ用病棟とし49床確保する。これに伴い、新型コロナ対応をする看護師を確保するため7A病棟を閉鎖、手術枠を6+1+1から6+1と1枠減とする。また、周産期部門で9月に工事を予定しており、病床を一時的に減らすことになる予定があるので、前倒しして周産期部門からも看護師を配置する。

## ◎安西看護部長

・現在、32名が就業制限となっている。このように看護師の医療資源が不足している状況にある。このような状況のため、8A病棟の新型コロナ病床として運用していくためには、7A病棟の看護師だけでは不足であり、手術室、周産期部門の看護師の一部を配置することが必要である。9月からの外来検査の夜勤二人体制への移行も看護師不足で延期となる見込みである。新型コロナ患者が増加すると、入院患者の対応だけでなく、例えば外来のトリアージゾーンの患者も増加することからそれに伴う看護師を配置しなければならない。このように新型コロナ対応で様々な業務が増えていることから、看護師の業務量が多く非常に厳しい状況となっているため、看護師の業務量軽減のため診療部、病院経営部にも協力をお願いしたい。また、看護師の人員を増やすため毎月採用試験を行うなど回数を増やす等検討していただきたい。

→ 採用試験の回数は増やしたいと考えているが、採用時期を毎月増やすことはできない。(病院総務課長)

→ 夜勤専従の看護師の採用はできないのか。(看護部長)

→ 会計年度任用職員として夜勤専従の看護師の採用は可能となるよう制度は導入済みであり可能である。(病院総務課長)

→ 夜勤専従看護師の募集を行ってほしい。(堀之内院長)